

**CONTENTS**

- 活動報告・各種会議議事録
- 会員動静
- 学会関連カレンダー
- 学会主催会議などの詳細
- 日本農薬学会第47回大会のご案内
- 農薬科学研究奨励金制度のご案内
- 会費の自動引き落とし登録をされている会員の皆様へ

令和3年度 第2回常任評議員会議事録

日 時：令和3年7月17日(土) 13:00～16:05

方 法：Web会議

出席者：出席者16名（第47回大会組織委員長，事務局1名を含む）、欠席者1名

議事：

I. 令和3年度第1回常任評議員会議事録を確認した。

II. 経過報告および議案

1. 大会関係

- ・準備状況について説明があった。
- ・大会の実施形態について議論した。対面、オンライン、ハイブリッド、それぞれの可能性を検討していることが報告され、9月頃までに方針を決定することにした。

2. 財務関係

- ・会計報告
- 収支予算管理（令和3年1月1日から6月30日まで）では、順調に進捗していると報告があった。

3. 編集委員会

- ・学会誌JPSへの投稿，アクセス状況およびIFの推移について説明があった。
- ・非会員の投稿料の値上げと会員は投稿料がかからないことの周知方法について検討していることについて報告があった。
- ・編集委員長の担当している業務内容の見直しについて

議論した。

4. 学術・技術支援委員会

6/12開催の第1回委員会について以下の活動報告があった。

- ・「農薬について知ろう」ウェブサイトのリンク先点検，修正を完了した。今後，年3回程度の実施を予定。
- ・同ウェブサイトの閲覧解析システムを導入し，解析したところ閲覧が少なかったため，周知に取り組む。
- ・今年度の残留農薬分析セミナーは関東と関西を統合し，オンラインで1回の開催とし，過去の実習無しの参加費と同額にすることを検討した。

5. 将来計画委員会

・7/10に開催された第1回委員会で次の6課題が検討されたことが説明された。

- ①農水省による提言「みどりの食料システム戦略」に対する学会の取り組み
- ②学術小集会の統合と新設
- ③編集委員会のあり方。特に英文誌と和文誌担当の役割分離
- ④リモートを中心とするポストコロナの日本農薬学会の活動

⑤会員の減少対策として，海外会員の増加促進

⑥会員の交流の場としての談話会（大学教員，県職員，民間企業研究員の交流会）の設置

6. 学会賞受賞者選考委員会

・次回の常任評議員会にて報告することとなった。

7. 農薬科学研究奨励金

- ・次回の奨励金の1件あたりの金額と件数について議論，2件×50万円=100万円とする。
- ・奨励金受給者は大会報告済みまたは報告予定。引き続き，学会誌へ投稿の検討を依頼することとした。

8. 技術士育成推進委員会

・活動報告があり，今後，試験の予定や合格者などの情報をお知らせメールで発信することとした。

9. 昆虫科学連合，植物保護科学連合

・日本昆虫科学連合については，6月に開催された公開シンポジウムの報告と，2024年に日本で開催予定の国際昆虫学会議に関する説明があった。

- ・日本植物保護科学連合については、6月に開催された会議の報告と、12月に開催予定のシンポジウムの説明があった。
10. 国際学会の渡航費補助について
 - ・財務委員会で選考された2件の申請を承認した。
 11. 公益財団法人農学会
 - ・現在、日本農学進歩賞の公募がされているとの説明があった。
 12. 研究会の後援・協賛
 - ・公益財団法人報農会主催シンポジウムへの協賛について報告があった。
 13. 入退会の報告
 - ・2021年4月～6月の期間における入退会の報告があり、正会員9名、学生会員1名、団体会員1団体の入会が承認された。

令和3年度 学術小集会委員長との懇談会 議事録

日 時：令和3年9月4日(土) 15:30～17:00

方 法：Web会議

出席者：小集会より6名、常任評議員会より12名

議 事：

1. 活動報告
 - 各学術小集会より活動報告の説明があった。
2. 今後の活動方針
 - 各学術小集会より、今後の活動方針について説明があった。
3. 小集会から常任評議員会への連絡・要望など
 - Web会議システム（Webex）の利用についての質問があった（下記項目4. の「5）委員会／シンポジウムで学会契約Webexの利用状況報告のお願い」を参照）。
4. 常任評議員会から小集会への連絡・要望など
 - 1) 講師派遣の要望があった場合の講師候補の推薦のお願い
 - 日本農薬学会では一般市民や農業、教育関係の方々に講師派遣を行っているが、最近、派遣の範囲を拡大したことが説明された。
 - 今後、講師派遣を依頼させていただいた場合はぜひご協力いただきたい、との依頼があった。
 - なお、講師への謝金を出すことはできないことをご理解いただきたい、との説明もあった。
 - ・農薬科学研究奨励金について
 - 各小集会から2名ずつの審査員を依頼してきていること、また今年度は12月に審査を依頼する予定であることが説明された。
 - ・「農薬について知ろう」ウェブサイトについて
 - リンクの確認を行うキュレーターについて、今ま

で厳密に任期を決めていなかったが、今年度から任期を2年に設定することが説明された。

現在、新たなキュレーターを打診中であり、10月に正式に依頼予定であるが、小集会委員にキュレーターの打診があったら協力してほしいとの依頼があった。

- 2) 銀行口座の適切な管理のお願い（名義変更等）
 - 銀行口座の適切な管理を行うよう、依頼があった。
- 3) シンポジウムの参加費徴収方法の情報共有のお願い
 - 参加費徴収方法について情報共有し、省力化できるよう模索していくことが提案された。
 - 各学術小集会での現状について報告された。
 - 現状では、どの小集会においても会計担当者の負担が大きいことが指摘された。そこでダイナコムなどの企業に、入金システムの作成をまとめて依頼してはどうか、との提案があり、継続して審議することとした。
- 4) 懇親会／会議費の適正な取扱いのお願い
 - 目安となる金額を決める予定である、との説明があった。
- 5) 委員会／シンポジウムで学会契約Webexの利用状況報告のお願い
 - Webex（1ライセンスのみ、同時接続数は1000）の利用予定が重なる可能性もあるので、常任評議員の村井先生へ予め連絡して予約する必要がある、との説明があった。利用予定が決まったら、早めに連絡していただくよう、小集会委員長へ依頼された。また、利用に先立って管理用アカウントおよびパスワードが村井先生から連絡される、と説明された。
 - 予約状況は、学会HPの「学会カレンダー」>「委員会カレンダー」にて確認できる、との説明があった。
- 6) 学会誌への寄稿と、研究会要旨集アーカイブ化の依頼
 - 学会誌への寄稿および研究会要旨集アーカイブ化について、会長より依頼があった。
5. その他
 - ・小集会活動経費関係の書類提出に関する今後のスケジュールについて説明があった。
 - ・ストレージサービス「どこでもキャビネット」について、学術小集会委員長にもアクセス権を付与するかどうか議論し、今後も引き続き検討することとした。なお、様式ファイル程度のものであれば、学会HPからダウンロードできるようにしてはどうか、と提案があった。

令和4年度学会賞受賞者選考委員会 第2回委員会議事録

日 時：令和3年9月25日(土曜日) 13:00～15:30

場 所：オンライン会議

出席者：14名（委員長を除く）

議 事：

1. 選考委員の2/3以上が出席していることを確認した。
2. 内規を確認した。
3. 業績賞（技術）、奨励賞の各候補について厳正に選考を行い、学会賞受賞者選考委員による投票を実施した結果、業績賞（技術）1件、奨励賞2件の授賞候補を決定した。
4. 論文賞については、編集委員会より推薦された論文を授賞候補と決定した。
5. 上記授賞候補に対して、評議員による授賞可否の投票手続きに入ることを確認した。

会 員 動 静

（令和3年7月1日～令和3年8月15日）

入 会

正会員

田牧 祐治 笠原 博幸 丹羽 隆介

（受付順）

退 会

正会員

廣田 政隆 寺岡 徹

学会関連カレンダー

太字は日本農薬学会が主催、共催、協賛、後援する会議等

2021年

11月

25日(木) 残留農薬分析セミナー 2021年度

主催：日本農薬学会

開催方法：オンライン開催

URL：http://pssj2.jp/inside/other.html



12月

3日(金) 第28回農薬レギュラトリーサイエンスシンポジウム

主催：日本農薬学会、農薬レギュラトリーサイエンス研究会

開催方法：オンライン開催

URL：http://pssj2.jp/committee/regulatory/regula28.html



4日(土) 令和3年度日本学術会議公開シンポジウム

「グリーンリカバリーへの植物保護科学の貢献」

主催：日本学術会議農学委員会植物保護科学分科会、植物保護科学連合（日本植物病理学会、日本応用動物昆虫学会、日本農薬学会、植物化学調節学会、日本雑草学会）

開催方法：オンライン開催

URL：http://www.plantprotection.sakura.ne.jp/symp/sym2021.html



17日(金) 第1回殺虫剤抵抗性対策シンポジウム

主催：農林害虫防除研究会

後援：日本植物防疫協会、日本農薬学会、日本応用動物昆虫学会、農研機構

開催方法：オンライン開催

URL：http://agroipm.org/2021/09/10/sympo1/



2022年

3月

7日(月)～9日(水) 日本農薬学会第47回大会

主催：日本農薬学会

開催方法：（7日）岡山大学創立50周年記念館

〔〒700-8530 岡山市北区津島中1丁目1-1〕を
実会場とする対面形式とオンライン形式のハイブリッド開催、（8日～9日）オンライン開催

8日(火)あるいは9日(水) 第21回農薬バイオサイエンス研究会（日本農薬学会第47回大会との共催）

主催：日本農薬学会、農薬バイオサイエンス研究会

開催方法：オンライン予定

学会主催会議などの詳細

第28回農薬レギュラトリーサイエンスシンポジウム 開催案内

日時：令和3年12月3日(金) 13時開始

形式：オンライン（Webex利用）

大規模自然災害、地球温暖化、生産者の高齢化、SDGsへの取り組みに対応した持続可能な食料システムを構築するため、農林水産省は食料・農林水産業の生産力向上と持続性を目指した「みどりの食料システム戦略」を策定しました。今回、この戦略から農業生産と農薬とのかわり方を考えるシンポジウムを開催します。

テーマ：「みどりの食料システム戦略」化学農薬の低減と農業生産について考える

講演：

1. 「みどりの食料システム戦略」～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～
(仮)
農林水産省消費・安全局農産安全管理課担当官
2. 今なぜ「持続可能性」が世界の top agendaなのか 地球環境問題から「みどりの戦略」を理解する (仮)
吉田 央 (東京農工大学農学研究院共生持続社会学部門准教授)
3. 「みどり戦略」への作物保護産業の取組みとEU「農場から食卓へ」における化学農薬等削減の社会的背景
廣岡 卓 (農薬工業会事務局長)
4. 「みどりの戦略」を踏まえた総合防除の現状と今後の展開 (仮)
長坂幸吉 (農研機構 植物防疫研究部門作物病害虫防除研究領域長)

参加申込：

1) 申込方法

農薬学会ホームページ内の農薬レギュラトリーサイエンス研究会ページ (<http://pssj2.jp/committee/regulatory/regula28.html>) より



シンポジウム参加申し込みサイトへ移動していただき、参加登録・参加費のお支払をお済ませください。参加登録・参加費お支払い後、後日、開催当日のオンラインシンポジウム (Webex) へのアクセス方法についてシンポジウム開催事務局よりご案内いたします。

2) 参加費および登録メ切

参加費：日本農薬学会会員 (個人会員) 1,000円, その他一般2,000円

参加登録メ切：令和3年11月26日(金)

*シンポジウムの参加・視聴は参加登録された方のみに限ります。

3) 講演要旨集

ご登録いただいたメールアドレス宛に、シンポジウム当日までに、講演要旨集 (PDF) をお送りします。

事務局：ご不明な点がございましたら下記の当研究会事務局まで電子メールにてご連絡ください。

日本農薬学会農薬レギュラトリーサイエンス研究会

第28回シンポジウム開催事務局

Email: PSSJ-RS-Sympo@iet.or.jp

日本農薬学会第47回大会の御案内

日本農薬学会第47回大会を、2022年（令和4年）3月7日（月）から3月9日（水）までの3日間にわたって開催いたします。本大会は新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、大会初日（7日）はハイブリッド形式（人数限定で対面開催およびオンライン配信）、8,9日はオンライン開催となります。残念ながら今回も受賞祝賀懇親会はありません。本学会員ならびにご関心をお持ちの皆様には、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。植物防疫関係2学会（日本植物病理学会、日本応用動物昆虫学会）および日本雑草学会と植物化学調節学会の正会員・学生会員の方は、例年通り、本学会会員扱いとなりますので、お近くの学会員の方にも参加・発表をお誘いいただければ幸いです。また、非会員の方のご参加も歓迎いたします。

大会関係の記事は、PSSJ News Letterにてご案内しますが、詳細は大会ホームページあるいは会員メールで随時お知らせいたしますのでご確認ください。本大会において、講演要旨は電子媒体PDFとして配信し、印刷物の配布を行いません。

I. 開催場所と方式

総会、授賞式、受賞講演、特別講演：岡山大学創立50周年記念館・オンラインのハイブリッド開催
一般講演、企業・団体セミナー、シンポジウム：オンライン
オンライン展示会・広告：オンデマンド

II. 会期および日程：2022年3月7日（月）～9日（水）

月・日	午前	昼	午後	会場・Zoom
3月7日（月）	総会 授賞式 受賞講演		特別講演	岡山大学創立50周年記念館・ オンラインハイブリッド
3月8日（火）	一般講演、企業・団体セミナー、シンポジウム			オンラインのみ
3月9日（水）				

III. 特別講演およびシンポジウム（調整中）

IV. 一般講演 講演形式はリアルタイムオンライン接続、時間は1題15分（講演12分、討論3分）の予定です。

V. 一般講演申込

申し込み開始日 : 2021年12月1日（水）
一般講演申し込み締切日 : 2022年1月14日（金）
事前参加登録締切日 : 2022年2月7日（月）

一般講演の申込は、本学会会員（および冒頭に記載した4学会の会員）で令和4年度分会費納入者に限ります。受付は全て大会ウェブページ上で行います。

VI. 参加登録

大会ウェブページ上で事前参加登録を受け付けます（準備中）。

		参加登録費	備考
大会参加費 (講演要旨集1部の代金を含む)	正会員	5,000円	2月8日（火）以降は7,000円
	学生会員	2,000円	2月8日（火）以降は3,000円
	非会員	10,000円	2月8日（火）以降は12,000円

※植物防疫関係2学会（日本植物病理学会・日本応用動物昆虫学会）および日本雑草学会と植物化学調節学会の正会員・学

生会員の方も本学会会員と同じ参加費です。

※講演要旨集をご覧になりたい方には、大会参加登録をお願いします。

大会初日（3月7日）岡山大会会場では、事務局からご案内する関係者のみでの進行を予定しておりますが、特に希望する方の入場も先着順にて受け付けます。定員に達した場合はご容赦下さい。

VII. 企業・団体セミナー、オンライン展示会、広告の募集

企業・団体セミナー（旧ランチョンセミナー）、オンライン展示会（旧展示会）への出展、および大会ウェブページ・講演要旨集への広告の掲載等でご支援を賜りたいと考えております。本大会の成功のために、何卒ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

日 程：企業・団体セミナー：2022年3月8日(火) および3月9日(水)

大会ウェブページ広告・オンライン展示会：2022年3月1日～3月31日の期間を予定

〈申し込み・問い合わせ先〉

日本農薬学会第47回大会組織委員会委員長

岡山大学 農学部 神崎 浩

TEL: 086-251-8297 E-mail: hkanzaki@okayama-u.ac.jp

岡山大学 農学部 清田洋正

TEL: 086-251-8348 E-mail: kiyota@okayama-u.ac.jp



農薬科学研究奨励金制度のご案内

日本農薬学会では、作物保護に必須の資材である農薬の研究を支えることで社会に貢献することを目的とし、その基盤となる化学と生物の領域も含め、広く農薬科学研究全般に対して農薬科学研究奨励金（1件上限50万円、総額100万円を予定）の交付を行っています。現在、令和4年度分の申請を受け付けていますので学会ホームページ（<http://pssj2.jp/inside/grant21.html>）をご参照のうえ、日本農薬学会事務局にご連絡ください。なお、応募締め切りは令和3年11月30日（当日消印有効）です。

過去の採択課題：http://pssj2.jp/inside/past_grant.html

会費の自動引き落とし登録をされている会員の皆様へ

2022年度会費を、2021年12月6日(月)に引き落としいたします。前日までに指定口座へのご入金をよろしくお願いいたします。

※2022年度分の自動引き落としの申込は締め切りしました。2023年度分より自動引き落としを希望される方は学会事務局までご連絡ください。

日本農薬学会事務局：

〒114-0015 東京都北区中里2-28-10 日本植物防疫協会内

E-mail: nouyaku@pssj2.jp

発行所：日本農薬学会

〒114-0015 東京都北区中里2-28-10

一般社団法人日本植物防疫協会内

FAX: 03(5980)0282

E-mail: nouyaku@pssj2.jp